

評価シート 様式

取組名	朝からはじめるエコ&ヘルシーで都市と地方の元気再生		
実施団体名	特定非営利活動法人エコデザイン市民社会フォーラム	対象地域	名古屋市都心部および愛知県下の市町村
(代表団体名)		推薦団体名	愛知県、名古屋市

① 実施 状況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか	② 実施 体制	平成20年度に行われた取組の実施体制について
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたととは判断できない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)
③ 効果	平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について	④ 継続 展開 の 見 込 み	平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて
	<input type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。 <input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかったと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)
			次年度は、都市と山村の協働モデルの構築を目指す「ゆいのまちづくり協議会」と連携して取組を継続する。

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

評価シート 様式

取組名	朝からはじめるエコ&ヘルシーで都市と地方の元気再生		
実施団体名	特定非営利活動法人エコデザイン市民社会フォーラム	対象地域	名古屋市都心部および愛知県下の市町村
(代表団体名)		推薦団体名	愛知県、名古屋市

⑤ 総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見
	フードマイレージに着目したエコポイントの交付を通じて、環境配慮行動の推進と地産地消による農業振興を推進する点は、他に例を見図、先導性・モデル性が認められる。また、農村との連携が軌道に乗れば、農村の活性化や環境への意識の高まり等相乗効果・波及効果が期待される。
	○ 評価
	<input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。
<input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。	
	(評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)
	本取組は、都市部における環境配慮行動の拡大と農業振興を同時に実現しようとする点で、地域活性化に寄与する取組であると評価できる。ただし、農山村地域との連携が不可欠であるとの反省をふまえ、次年度は、山村と都市の協働モデルの構築を目指す「ゆいのまちづくり協議会」と連携し、以下の点に留意しつつ取組を継続することにより、本格展開が期待できるものである。
	学びの場の拡大・人材育成については、都市住民を農山村交流に結びつけるきっかけづくりに重点化する一方で、教材の内容・効果について十分な検討が必要。また、「ゆいのまちづくり協議会」と連携して進める都市住民の農業体験、ボランティア活動の推進などの地域間交流の社会実験は、都市と山村の交流モデルにつながる取組と思われることから、一体的な推進体制を構築することが望ましいと考えられる。